＜臨床研究に関する説明文章＞

この文章は、患者さんのカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただくことを説明するために作成されたものです。

〇研究表題名：
「制吐目的に投与したドロペリドールのレミマゾラムでの全静脈麻酔中の BIS に与える影響の調査」

〇研究計画の概要：
目的：　レミマゾラムによる全静脈麻酔中は、麻酔中の鎮静度を脳波を用いて測定する BIS モニターの値が高めに経過することが知られています。一方で鎮静効果もあるドロペリドールを非常に少量（鎮静の効果は出ない程度の量）を術後の嘔気嘔吐を防ぐ目的で投与することがよくあります。今回レミマゾラムによる全静脈麻酔中にドロペリドールを投与した際の BIS モニターの値を後ろ向きに検討する。

方法：　当院の麻酔記録は電子的に記録されており、取得された BIS モニターの値などは取り出しが可能であるため、ドロペリドール投与後の値の変化を調べる。

対象患者：　2023 年 1 月 1 日～2024 年 1 月 31 日までにレミマゾラムによる全静脈麻酔を受け、ドロペリドールを投与された患者様

研究期間：　2024 年　3 月　31 日まで

上記の研究は、行われてきた診療の解析・検討などをすることで、今後、全身麻酔の安全性の一助になることが期待されます。

今回使わせていただくデータは、すでにカルテ記録として残っているものですので、改めて検査や手技をお願いすることはありません。また、匿名化して扱いますので、お名前など個人が特定される情報が外部に出ることはありません。さらに、研究成果は学会や論文などで発表させていただくことがありますが、個人情報を公表することはありません。

この研究にご協力頂けない場合のみ、別紙にてお申し出ください。協力できない場合でも、患者様に不利益が生じることは一切ありません。

2024 年 2 月 27 日

≪提出先および問い合わせ先≫

〒309-1793　茨城県笠間市鯉淵 6528　電話：0296-77-1121（代）
茨城県立中央病院 麻酔科　担当者：星　拓男

＜不同意書＞

茨城県立中央病院長 殿

〇研究課題名：
「制吐目的に投与したドロペリドールのレミマゾラムでの全静脈麻酔中の BIS に与える影響の調査」

私は、上記研究における臨床データの使用について、了承致しません。

年　　月　　日

本人(患者様)氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿(自署)

代諾者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿(自署)
(本人との関係：　　)

以上

≪提出先および問い合わせ先≫

〒309-1793　茨城県笠間市鯉淵 6528　　電話：0296-77-1121（代）
茨城県立中央病院 麻酔科　担当者：星　拓男